

2014年5月16日

2014年3月期 決算説明会資料



新田ゼンチュ株式会社

1. 事業概要
2. 2014年3月期実績
3. 2015年3月期見通し
4. 中期経営計画進捗状況

＜ご案内＞

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

1. 事業概要

会社概要

会社名	新田ゼラチン株式会社（ Nitta Gelatin Inc. ）
代表者	代表取締役社長 曾我 憲道（そが のりみち）
本 社	大阪市浪速区桜川4丁目4番26号
創 業	1918年(大正7年)1月
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部（証券コード 4977）
資本金	3,144百万円
連結売上高	328億円（2014年3月期）
連結従業員数	635名（2014年3月末現在）

事業セグメント・部門と主要製品

事業セグメント	部門	製品	用途
コラーゲン 素材事業	ゼラチン	食品用	グミやマシュマロ等の製菓、各種食品、コンビニ惣菜、冷凍食品 等
		カプセル用	ハード・ソフトカプセル、ミニカプセル 等
		写真用	カラーフィルム、レントゲンフィルム、 印画紙 等
	ペプチド	コラーゲンペプチド	栄養補助食品、サプリメント、 機能性栄養食品 等
	ケーシング	コラーゲンケーシング	ソーセージ、フランクフルト、スナック、 サラミ 等
	ライフ サイエンス	コラーゲン、ゼラチン	組織培養用研究試薬、人工皮膚、 人工骨、DDS、細胞移植 等
フォーミュラ ソリューション 事業	食品材料	食用ゲル化剤 各種品質安定剤	デザートゼリー、総菜、畜肉製品等
	接着剤	シーリング材(高機能樹脂)	スマートホン、携帯電話、タブレット、 デジタルカメラ 等
		ホットメルト形接着剤	包装、製本、建材、衛生材料 等
		にかわ系接着剤	製本、紙器、紙工 等

2. 2014年3月期実績

業績推移 ①: 売上

売上高: 32,814百万円

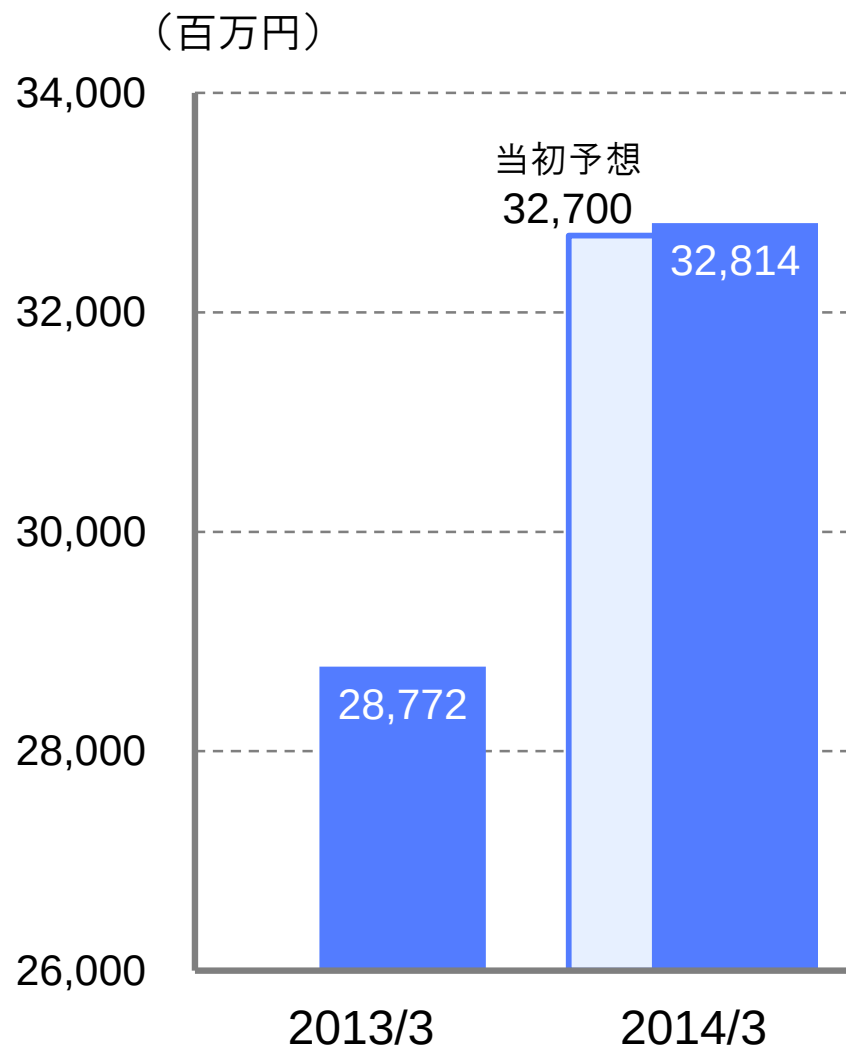
前年差: +4,041百万円

前年比: +14.0%

■ 販売数量増および価格改定による増加

■ 為替影響による増加

為替レート:
83.22円/\$ → 99.97円/\$



業績推移 ②：営業利益

営業利益： 955百万円

前年差： △640百万円

前年比： △40.1%

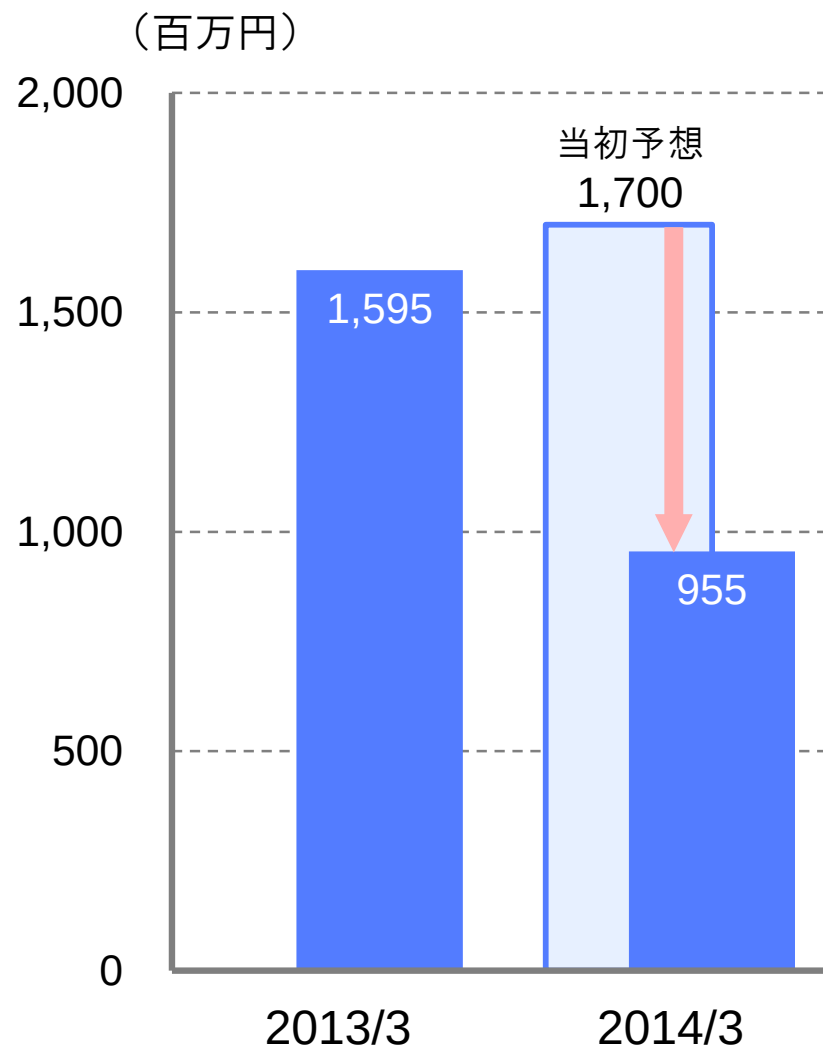
■ 円安による仕入れ価格上昇

■ 原料価格上昇

■ 国内価格改定進捗遅れ

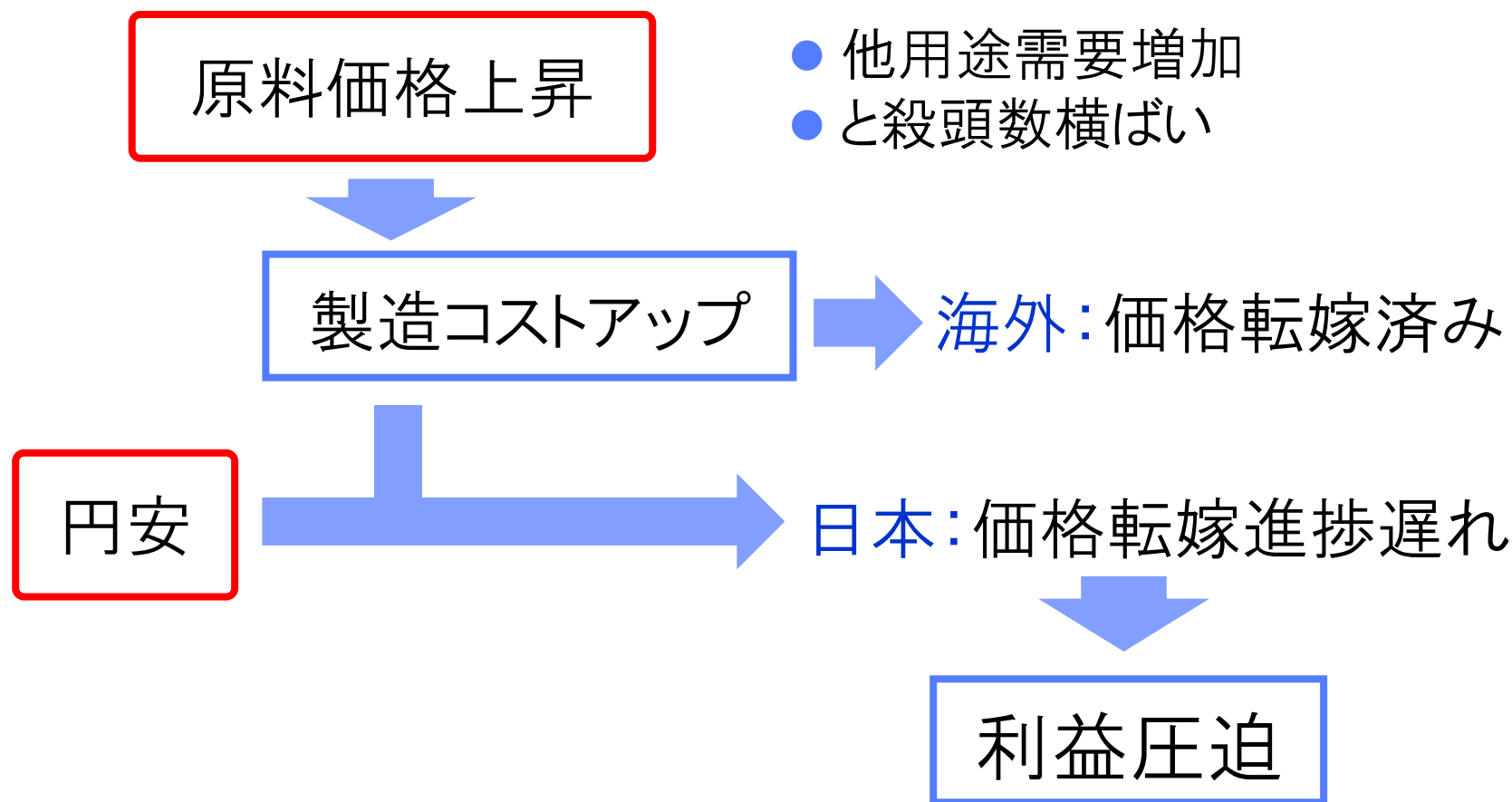
■ ケーシングの品質トラブル

■ シーリング材新規採用遅れ



減益の要因について

1. 国内のゼラチン価格改定の進捗遅れ

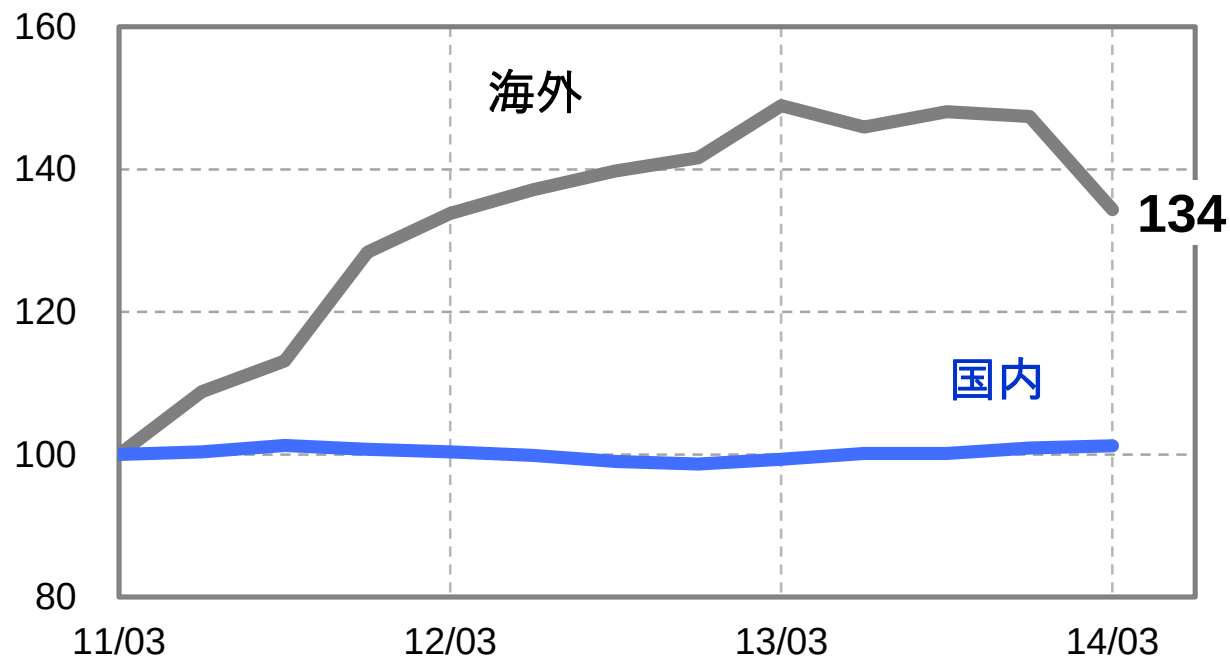


減益の要因について

2. ゼラチン市況

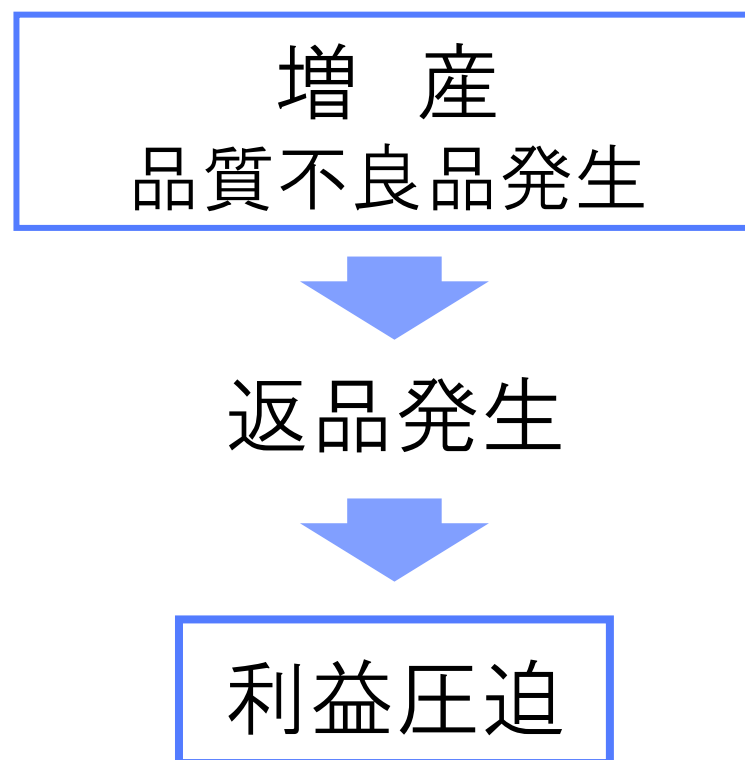
- グローバル市場での需給タイトによる価格高止まり
- 中国、インド等、アジア諸国のゼラチンの需要は伸長

ゼラチン販売単価指数推移

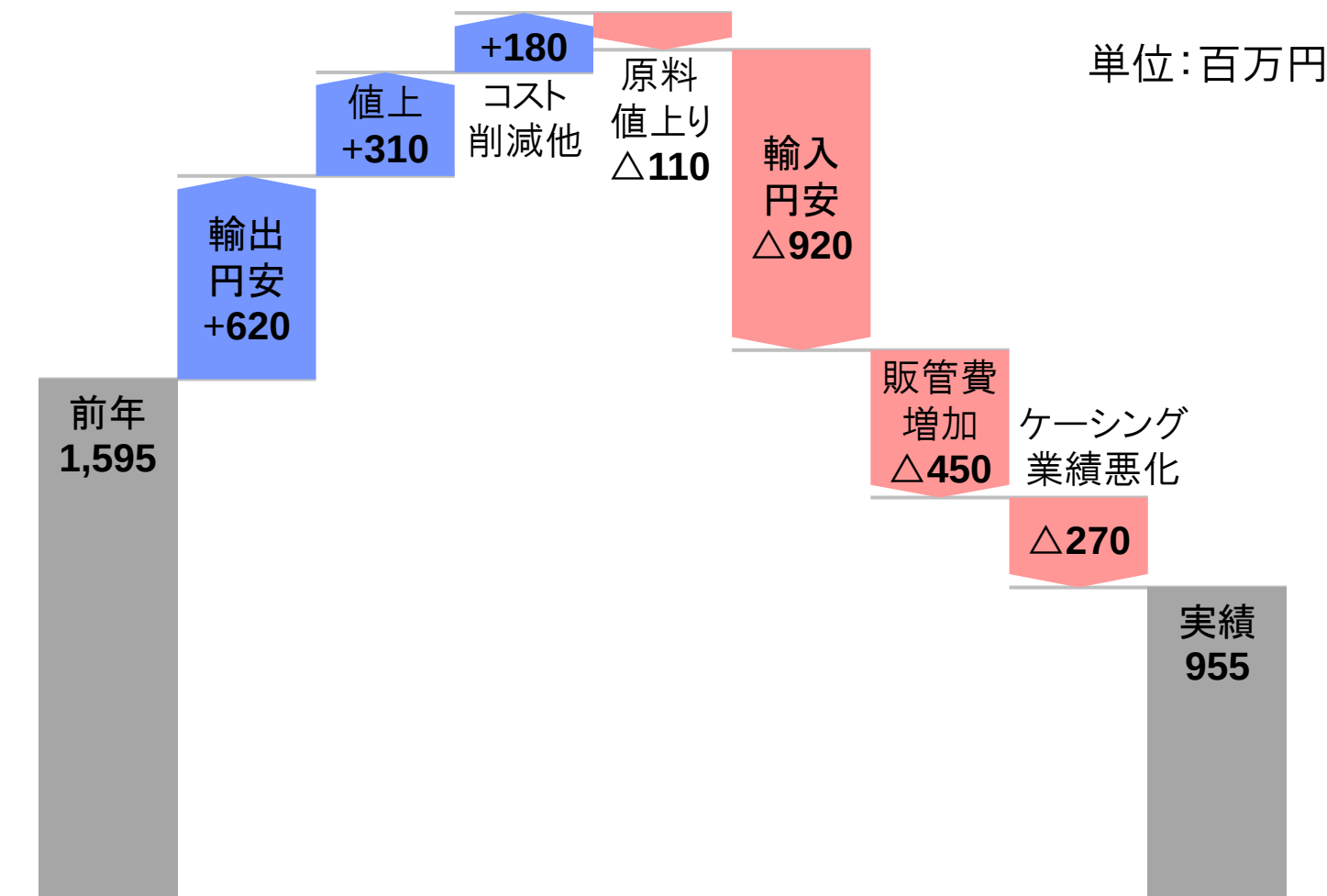


減益の要因について

3. ケーシングの品質トラブル発生



連結営業利益増減要因(前年比)



業績推移 ③： 経常利益

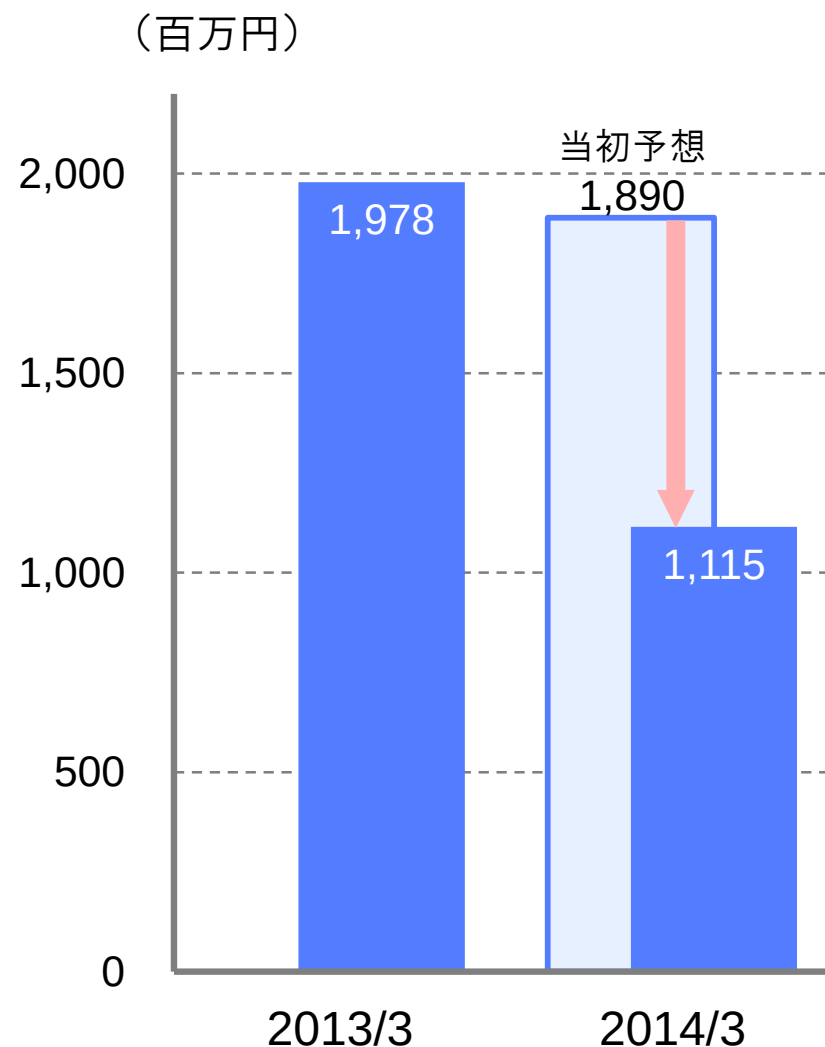
経常利益：1,115百万円

前年差： $\Delta 863$ 百万円

前年比： $\Delta 43.6\%$

■ 営業利益の減少

■ 持分法利益の減少



業績推移 ④：当期純利益

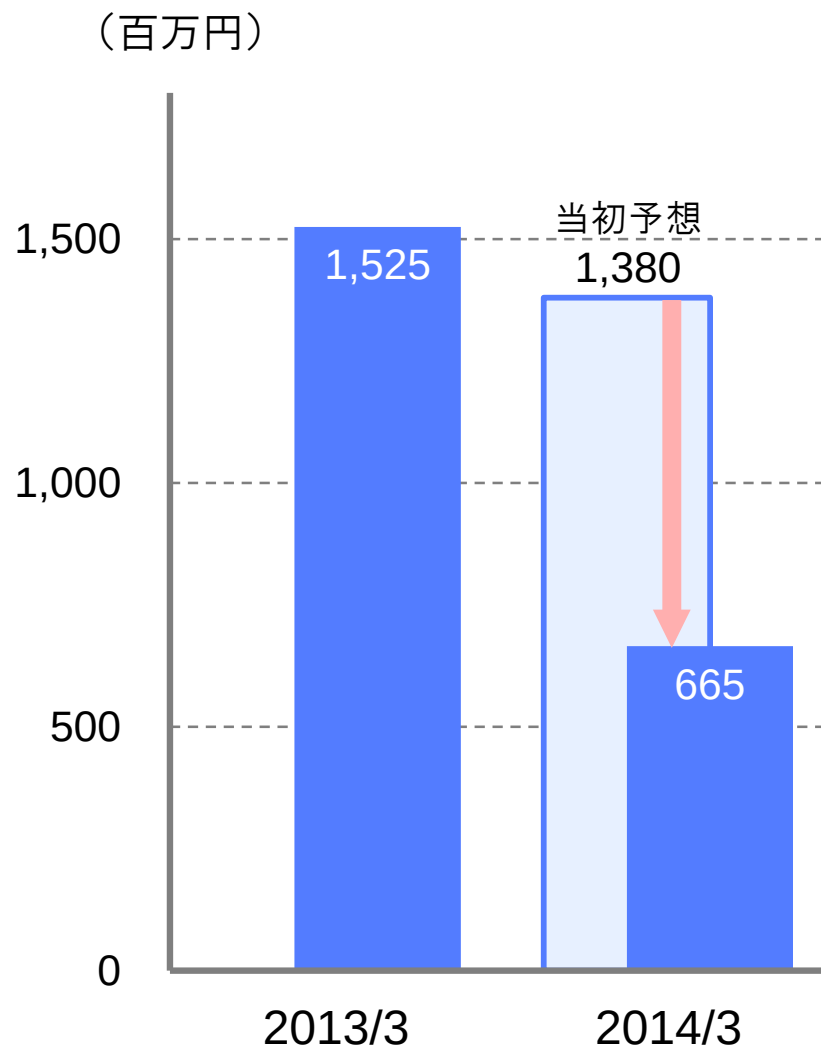
純利益： 665百万円

前年差： $\Delta 859$ 百万円

前年比： $\Delta 56.4\%$

■ 特別利益：米国子会社
設備不良の受取補償金

■ 特別損失：インド関連会社
株式持分変更による純資産減少



持分変動損について

インド証券契約規制法改正：一般株主比率25%以上

2013年3月期			2014年3月期			
	保有株式 (千株)	比率		保有株式 (千株)	比率	増減
当 社	3,900	46.4%	一般株主 株数増加 +679千株 	3,900	43.0%	△3.4p
ケララ州産業公社	2,862	34.1%		2,860	31.5%	△2.6p
一般株主	1,637	19.5%		2,316	25.5%	+6.0p
合 計	8,400	100.0%		9,079	100.0%	—

ニッタゼラチンインディアの
純資産に対する持分比率減少：△104百万円(特別損失計上)

コラーゲン素材事業

■ 前年同期比:増収、減益。

■ ハイライト

● ゼラチン部門:

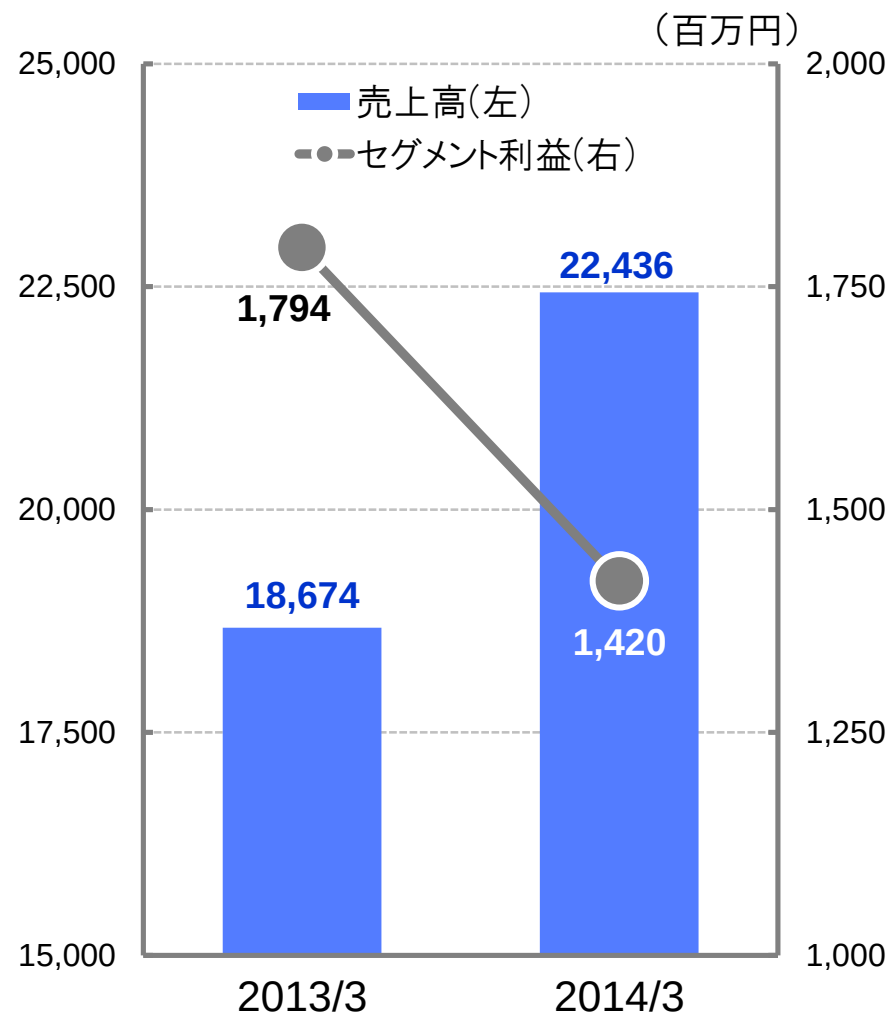
- (国内) ・ 食用、カプセル用は堅調
- ・ 円安による仕入価格の上昇
- ・ 原材料価格の上昇
- ・ エネルギーコスト上昇
- (海外) ・ 食用、カプセル用とも需要が旺盛
- ・ 価格改定で売上は好調

● ペプチド部門:

- ・ 日本、アジア地域での販売は堅調
- ・ 原材料価格の上昇

● ケーシング部門:

- ・ 品質トラブルにより販売伸び悩み
- ➡ 損失計上

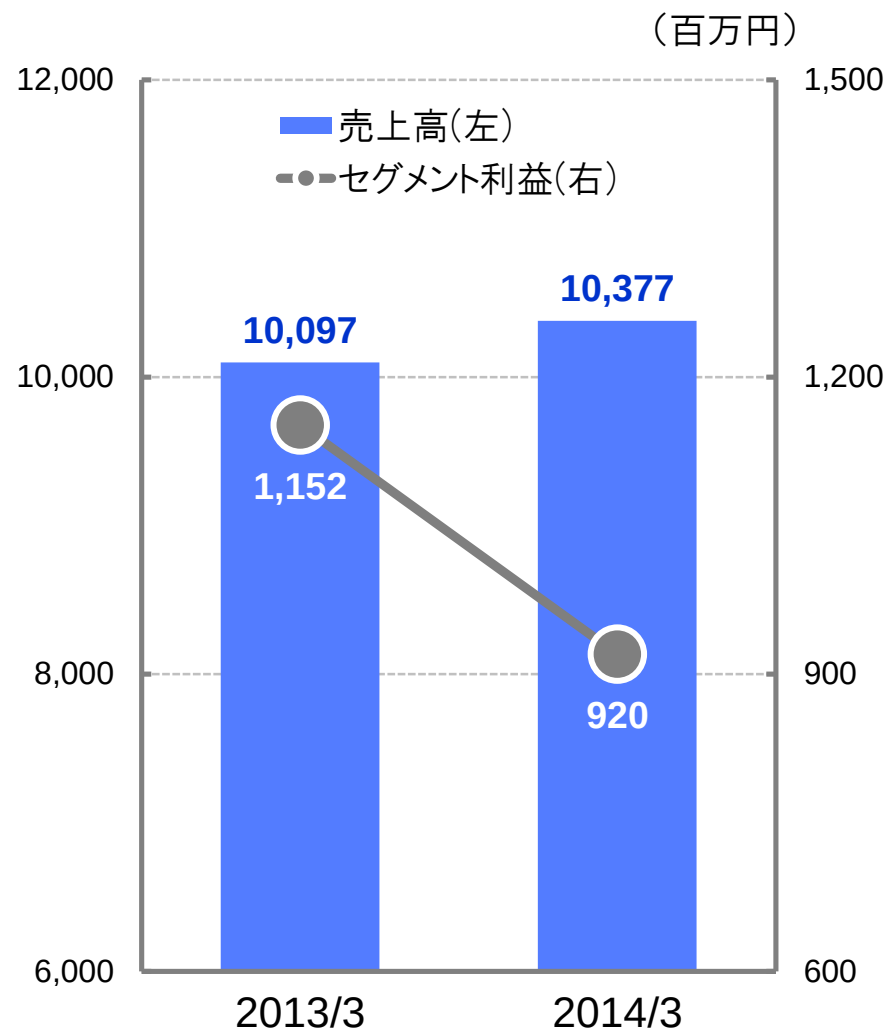


フォーミュラソリューション事業

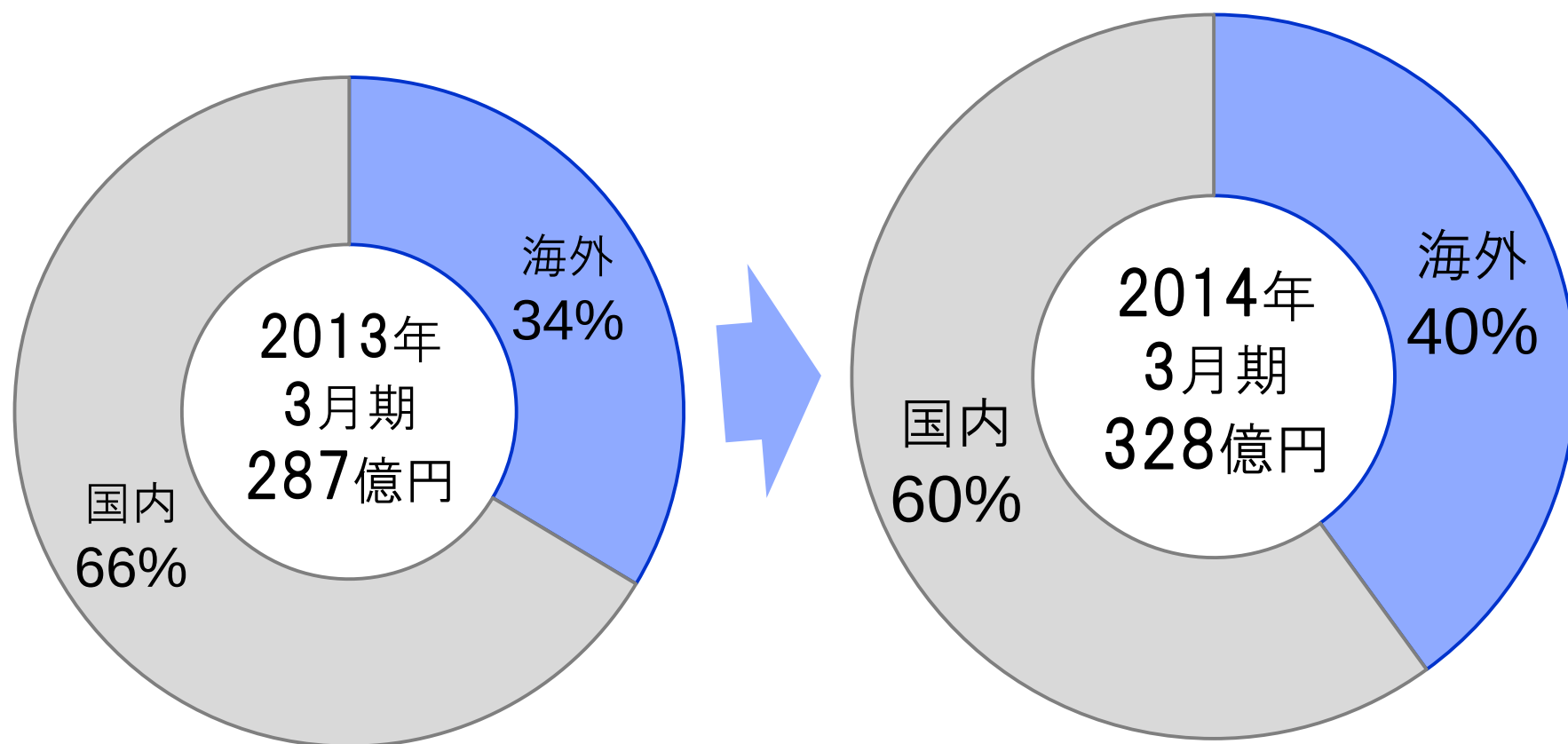
■ 前年同期比：増収、減益

■ ハイライト

- 食品材料部門：
 - ・ 全般的に伸び悩み
 - ・ 原材料価格の上昇
- 接着剤部門：
 - ・ ホットメルト形接着剤の売上は好調
 - ・ シーリング材は新規採用遅れ
 - ・ 原材料価格の上昇



国内外売上比率



貸借対照表 (B/S)

- 受取手形・売掛金、有形固定資産の増加により資産増加
- 公募増資により株主資本増加

(百万円)	2013/3	2014/3	増減
流動資産	15,319	18,685	+3,365
受取手形・売掛金	5,839	8,164	+2,324
たな卸資産	6,831	7,642	+810
その他流動資産	2,648	2,878	+229
固定資産	9,870	12,704	+2,833
有形固定資産	6,287	8,804	+2,516
無形固定資産	48	50	+2
投資等	3,534	3,849	+314
資産合計	25,190	31,389	+6,199

(百万円)	2013/3	2014/3	増減
流動負債	9,637	10,080	+443
支払手形・買掛金	3,736	4,255	+518
その他流動負債	5,900	5,824	△75
固定負債	5,828	7,528	+1,699
長期借入金	3,142	4,415	+1,273
その他固定負債	2,686	3,112	+425
負債合計	15,465	17,608	+2,142
株主資本	11,170	14,734	+3,564
その他包括利益累計額合計	△1,592	△1,097	+494
少数株主持分	147	144	△3
純資産合計	9,724	13,781	+4,056
負債純資産合計	25,190	31,389	+6,199

設備投資

(百万円)	計画	実績
設備投資額	3,400	2,949
減価償却費	900	914

- **Nitta Casings Inc. (米国)**
生産性向上実証ライン 2014年5月完成
- **北京新田膠原腸衣有限公司(中国)**
ひだ寄せ設備 2013年7月稼働開始
- **ペプチド工場建設(米国)**
2014年5月完成
- **Nitta Gelatin Vietnam Co., Ltd.(ベトナム)**
ゲル化剤製造工場 2014年5月末完成予定



中国ひだ寄せ設備

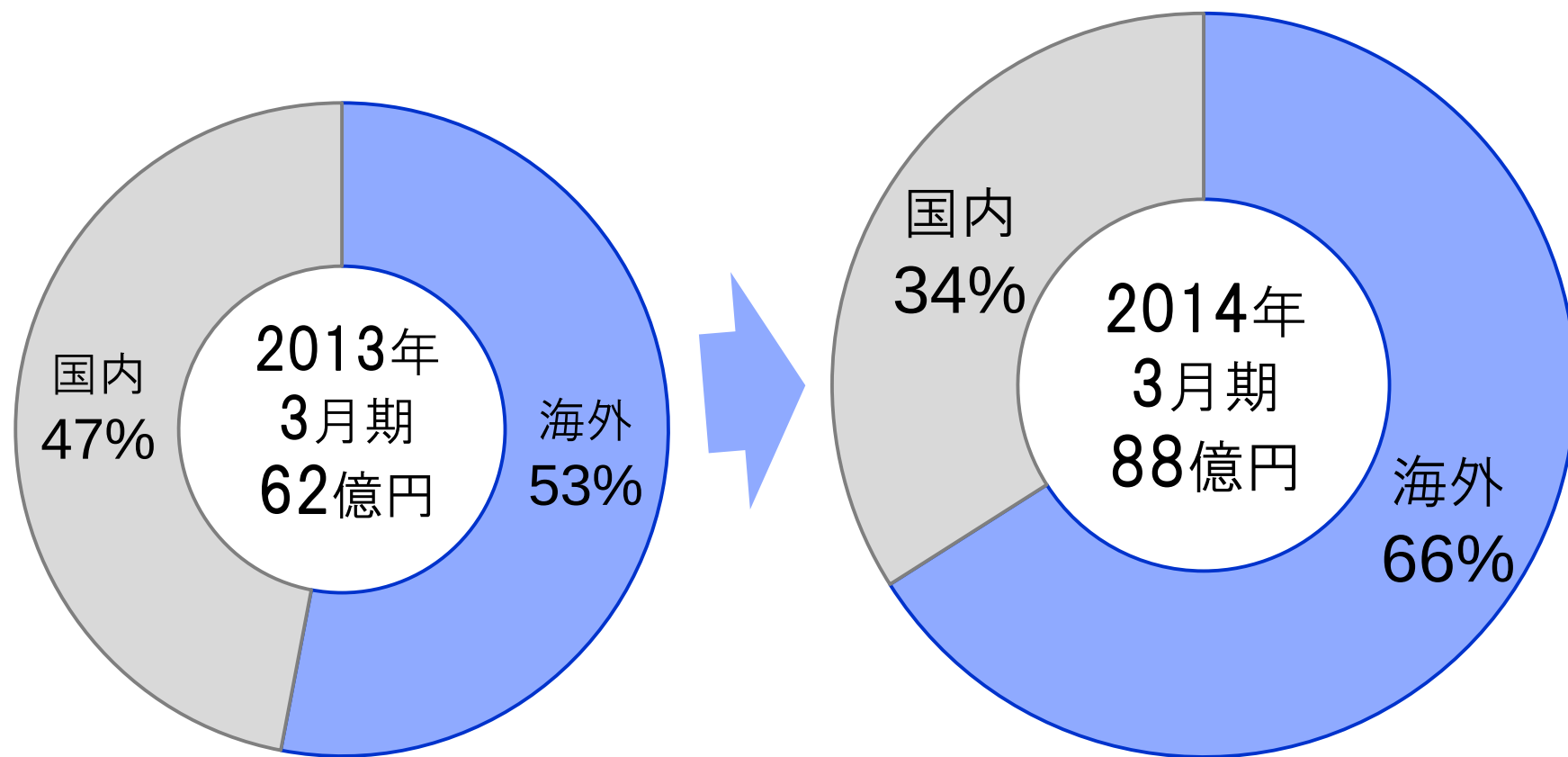


米国ペプチド工場



ベトナム工場完成予定図

国内外有形固定資産比率



トピックス

● 食品安全マネジメントシステムFSSC22000認証

- 当社 大阪工場(ゼラチン) 2014.3
- Nitta Gelatin Canada Inc.(ゼラチン) 2012.8
- Nitta Gelatin USA Inc.(ゼラチン) 2012.10
- Nitta Gelatin India Ltd.(ゼラチン) 2014.6予定
- 広東百維生物科技(ペプチド) 2013.4



大阪工場 登録証

● 『コラゲネイド』モンドセレクション 最高金賞3年連続受賞



2012年



2013年



2014年



トピックス

ブランド戦略推進

- 「インターネプコン・ジャパン2014」出展（東京）
- 「Food Ingredients China 2014」出展（中国）
- 「健康長寿とアンチエイジング」セミナー開催（大阪）

G-zain™
ジザイン



インターネプコン・ジャパン2014

Wellnex® ウェルネックス



Food Ingredients China 2014

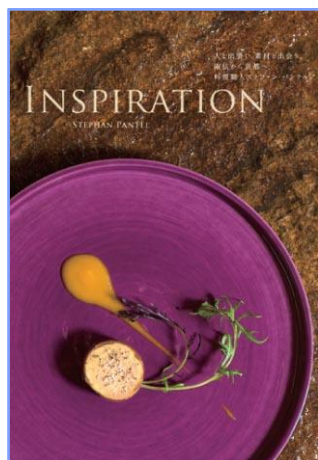


「健康長寿とアンチエイジング」セミナー

トピックス

● PR活動とその効果

ゼラチンレシピ本出版



インスピレーション



食育 2013年8月号
[学校給食関係者対象]



素材のちから 13号(2014年春号)
[ホテル、レストランシェフ対象]

キャッシュ・フロー計算書 (C/F)

- 営業CF: 売掛金の債権譲渡減額
- 投資CF: 設備投資による支出増
- 財務CF: 公募増資および銀行借入の増加

(百万円)	2013/3	2014/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,050	△692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,557	△3,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△376	3,875
現金及び現金同等品の増加額	180	147
現金及び現金同等品の期末残高	2,258	2,406

公募増資および第三者割当増資

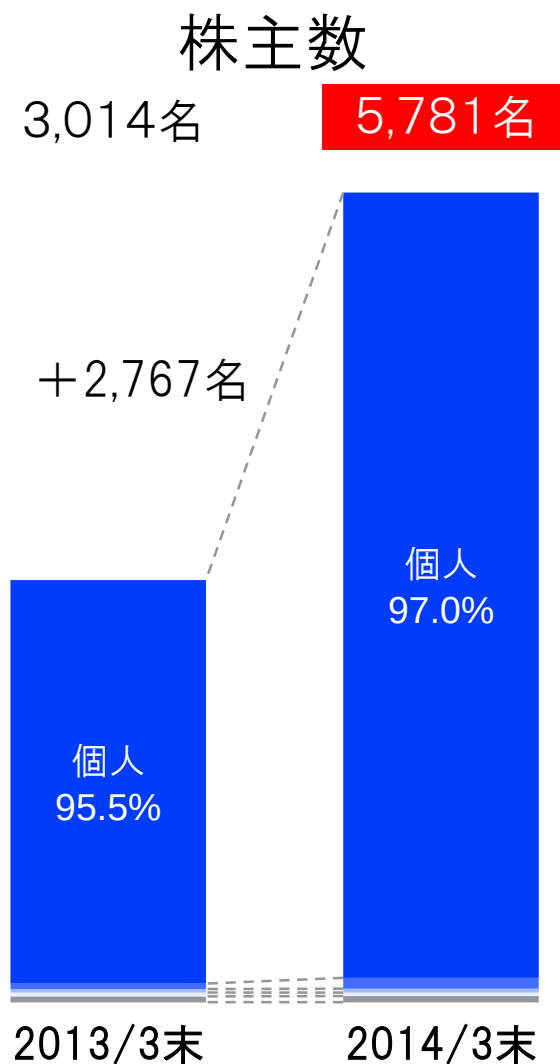
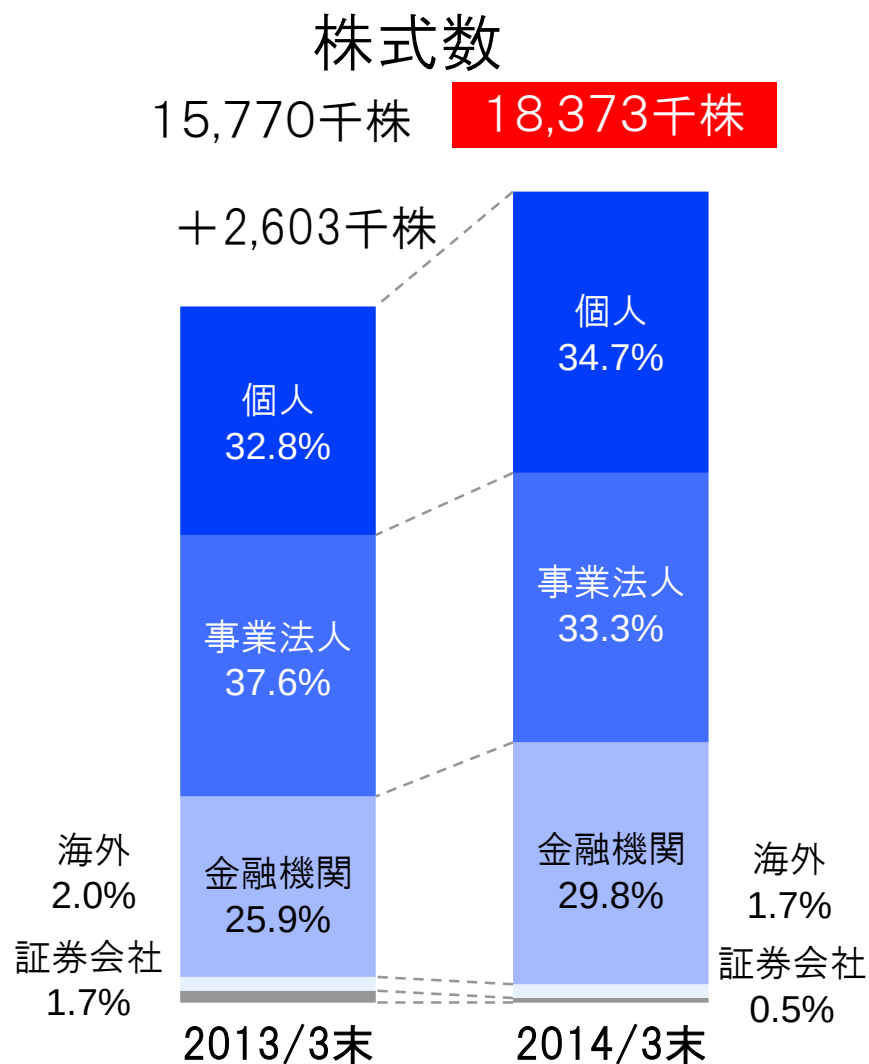
新株発行数 2,603,900株



資金調達 約31億円

発行済株式総数 18,373,974株

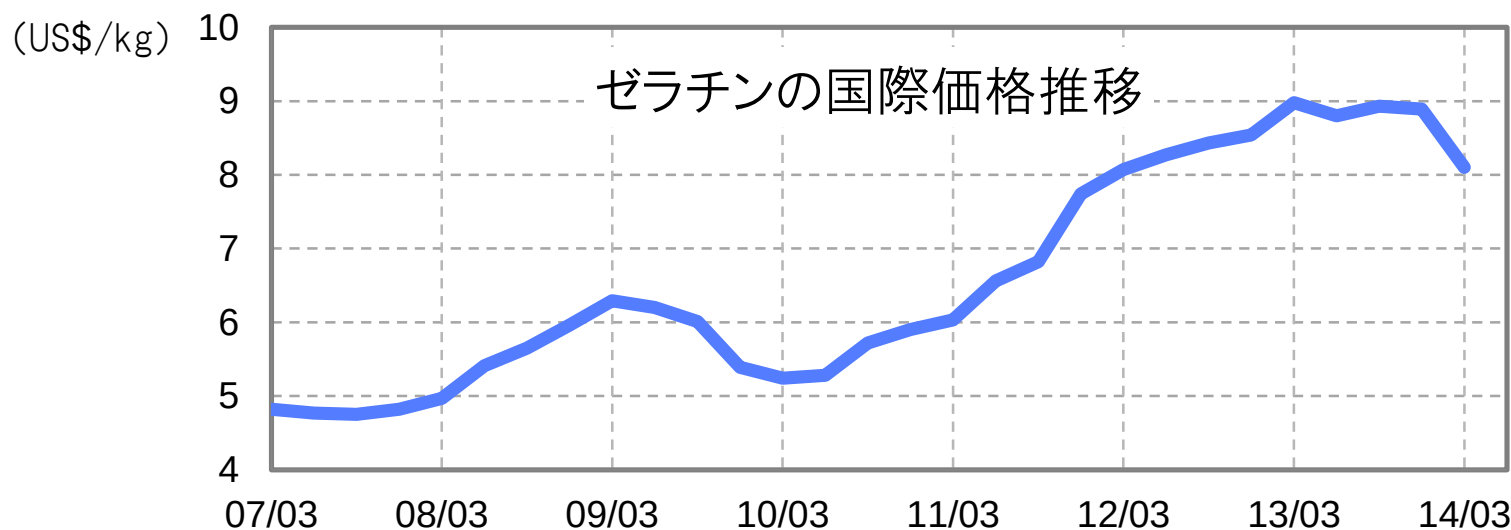
株式分布変化



3. 2015年3月期見通し

外部環境の認識

- ゼラチンの国際価格は、需要増加、原料タウトを背景に高止まり
- アジア諸国のゼラチン、ケーシング、ペプチドの需要伸長
- 円安継続
- 北米での豚流行性下痢(PED)発生



出典:IMR INTERNATIONAL

2015年3月期見通し

(百万円)		2014/3	2015/3 (中計)	2015/3 (計画)	14/3期比	中計比
売上高		32,814	38,600	36,500	+11.2%	△5.4%
営業利益		955	2,700	1,800	+88.4%	△33.3%
	利益率	2.9%	7.0%	4.9%	—	—
経常利益		1,115	2,600	1,900	+70.4%	△26.9%
	利益率	3.4%	6.7%	5.2%	—	—
当期純利益		665	1,500	1,200	+80.3%	△20.0%
	利益率	2.0%	3.9%	3.3%	—	—

見通しの前提

1. 日本市場での価格転嫁浸透
2. 徹底した製造コスト削減
3. グループ全体での販管費削減
4. ゼラチン、ケーシング、ペプチドの安定供給・拡大
5. シーリング材事業の収益への貢献
6. インド関連会社の連結子会社化を2016年3月期に完了

セグメント別売上見通し

(百万円)	売 上			セグメント利益		
	2014/3 (実績)	2015/3 (計画)	増減	2014/3 (実績)	2015/3 (計画)	増減
コラーゲン素材事業	22,436	26,000	+15.9%	1,420	2,270	+59.9%
フォーミュラソリューション事業	10,377	10,500	+1.2%	920	990	+7.6%
(消去又は全社)	—	—	—	△1,384	△1,460	—
合 計	32,814	36,500	+11.2%	955	1,800	+88.5%

設備投資

(百万円)	2013/3 (実績)	2014/3 (実績)	2015/3 (計画)
設備投資額	1,193	2,949	3,000
減価償却費	825	914	1,315

2015/3 主要な設備投資の概要

(百万円)	投資額	投資効果(目標)
大阪工場新建屋、生産設備	800	シーリング事業拡大
北米ケーシング製造設備更新	600	生産性向上と品質向上
大阪工場ゼラチン製造設備更新	500	生産性向上と品質向上
その他	1,100	省エネ・生産性向上設備 医療用コラーゲン製造設備 等

株主還元

＜予定配当金＞

2014年3月期： 期末配当 6円

2015年3月期： 12円(中間普通配6円＋期末普通配6円)

＜株主優待制度＞

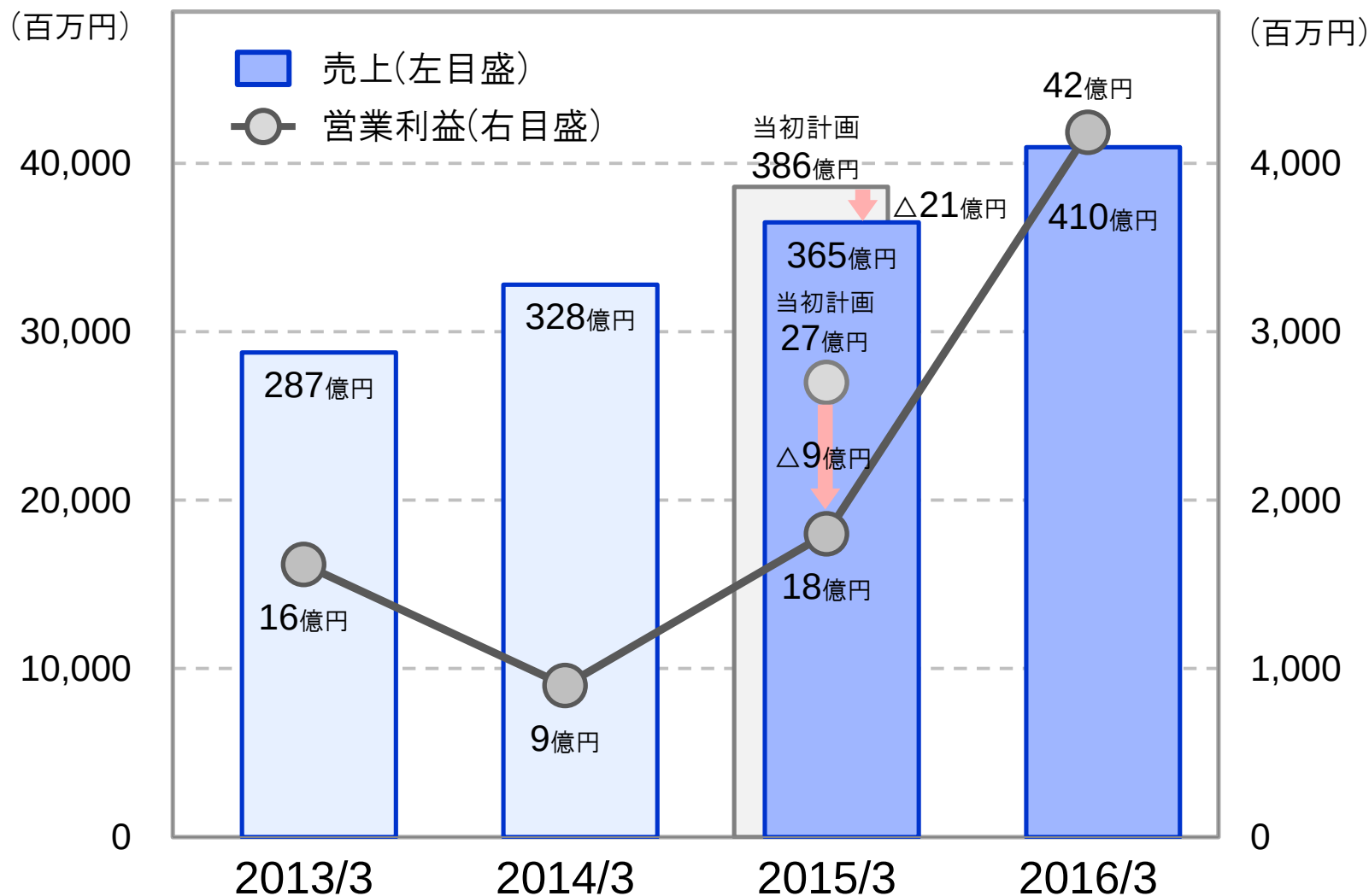
今後も継続予定

実施内容

- 100株～500株未満：
1,000円相当の(自社商品用)お買物優待券
- 500株以上：
3,000円相当の自社商品(健康食品等)

4. 中期経営計画進捗状況

中期経営計画



事業戦略

部門	戦 略
ゼラチン	・ グローバルコストの実現による競争力強化 ・ インド関係会社の子会社化 ・ 供給力増強：北米、インドでの増産と新供給拠点強化 ・ 販売拡大：差別化製品開発、新用途開発、新市場創造
ペプチド	・ 供給力の増強と販売拡大 ・ 中国での事業拡大 ・ グローバルブランド「Wellnex」の普及
ケーシング	・ 北米工場の生産性向上と販売拡大 ・ 中国での生産販売体制構築の推進
食品材料	・ アプリケーションラボ機能強化による販売拡大 ・ ベトナムでの事業拡大
接着剤	・ シーリング材のグローバル展開による事業拡大

設備投資計画

予定総額:110億円

(2013年4月～2016年3月)

- ケーシング事業設備導入
 - 北米工場の生産性向上
 - 中国での生産販売体制整備
- 米国ペプチド工場建設(完了)
- 大阪工場の効率化設備導入
- ゼラチン生産増強設備導入

「アジア圧倒的No.1、 世界オンリーワン」企業へ

ご清聴ありがとうございました



新田ゼンチュ株式会社